

## <私たちはキリストの使節>

Ⅱコリント5：17～21



<映画 ミッションより>

私たちの信仰の口を大きく広げるなら、神は必ずそこに天来の祝福を注いで下さる。

「あなたの口を広くあけよ、わたしがそれを満たそう」詩篇 81:10

「I message で証ししよう」 2024年度みんな目指す事。

イエス様が与えてくれた恵み、自分にしてくださった事を、「私」を主語にして伝えてようというもの。

ゲラサ人の男の人・・・イエス様によって自分の人生を取り戻した。いのちの恩人、

イエス様のお供をしたいと願い出た。しかしイエス様は・・・

「あなたの家、あなたの家族のところに帰り、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを、知らせなさい。」 マルコ5：19

イエスさまによって救われたクリスチャンは、

世から召し出され、再びこの世に遣わされた、キリストの使節。

「ambassadors for Christ」

すなわち、神は、キリストにあって、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです。こういうわけで、

私たちはキリストの使節なのです。 【19、20節】

◆クリスチャンは世の中に対して感化力を持っている。

誰の感化？ イエスキリストの感化

クリスチャンが持っている感化力は、イエス・キリストの十字架によって罪が赦されたという、神の愛を知った人がもっている感化力。

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私が生きているのではなく、キリストが私のうちに生きておられるのです。いま私が肉にあって生きているのは、私を愛し私のためにご自身をお捨てになった神の御子を信じる信仰によっているのです。 ガラテヤ 2 : 20

◆ディートリッヒ・ボンヘッファー（ドイツ人の神学者・牧師）

クリスチャンや教会の問題点を指摘。

義認はあっても聖化がない。恵みはあっても服従がない。救いはあっても修練がない。そして、そのことによって、キリストの救いは安っぽい卑小（取るに足りない、みすぼらしい価値のないもの）になり、その偉大さ、素晴らしさを体験することが出来ないままにいる。

義認 → 聖化 → 栄化 3つの段階

◆「キリストに生きる」ためには、聖霊の助けが必要。

偉大な神の存在によって生かされたクリスチャン、世に影響を与えていくはずのクリスチャンが、むしろ世の中に飲み込まれていないだろうか…。